



2月の園だより

令和6年2月1日
目黒区立鷹番保育園園長



冬らしい寒さではありますが、すぐに立春を迎え暦の上では春になります。寒くても園庭では元気に走り回る子どもたちがいます。

凧揚げでは2歳児が一生懸命走っています。凧が揚がっているかどうかを確認したくて凧を見ると足が止まり凧が落ちてしまい、走ると凧が見えないというジレンマは見えてはほほえましいですが本人は一生懸命です。繰り返すうちに速く走ってから、止まって振り返ると少しの間凧が浮かんでいるところを見ることができることがわかり、速く走っては確認していました。

5歳児はバナナ鬼など園庭をいっぱいに使って遊んでいます。足が速くまた、小回りも利くなど巧みな身のこなしができる5歳児には大人も本気にならないと楽しめません。時にはルールを守ることの大切さと負けたくない思いとの間で葛藤することもあり、そのことで友達ともめる姿もありますが、子どもたちの中で解決することが多くなりました。まだ大人の助けが必要な場面もありますが、ただ自分の思いを伝えるだけでなく相手の気持ちを察して折衷案を考えたり、周りの友達が寄り添ってくれることもあります。日々の活動の中で、リーダーとなってみんなをまとめる経験や、自分の思いを相手に伝わりやすく話す経験、友達の意見を聞いて自分と違う意見があることに気づく経験等を繰り返してきたことで、話し合うことが自然にできるようになりました。自分の思いを伝えること、人の意見を聞くこと、人の気持ちに寄り添うことなど、これからいろいろな人と出会う中でも、その力は大事です。ひとりひとりが自分の力を発揮できるよう、残り2か月もたくさんの経験を積み重ねていきたいと思います。



行事予定

節分

わくわくまつり

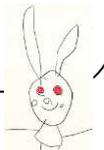
ポニー教室

避難訓練 身体計測



ほのぼのエピソード ～2歳児クラス～

- ・最近クラスでかるた取りを楽しんでいます。かるたを取るために「集中」と言って、真剣な顔で読み札を聞いている姿が可愛らしいです。
- ・一生懸命パズルをしていた子がひらめいた顔でピースを手に取り「発見」と言ってはめていました。見つけれられた喜びが伝わってきて微笑ましかったです。

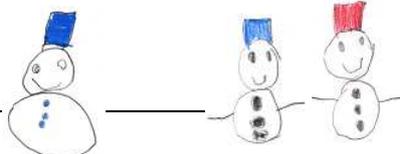


「食育活動を通して」

栄養士

今年度も残すところあと2か月となりました。これまで食育活動や食事の時間のクラス訪問を通じて子どもたちと経験した楽しい出来事がいくつも思い出されます。11月の「焼き芋会」では園庭での焚き火が復活し、直火で焼いて少し焦げた芋を2歳児と5歳児が笑って一緒に食べる様子がとても印象的でした。

また、年間を通じて栽培野菜の収穫を何度も行いましたが、子どもたちが毎回元気いっぱいの様子で調理室に野菜を運び「よろしくお願ひします」と言えることにいつも感心していました。調理することに関心が高い子どもが多く、5歳児クラスでの「おにぎり作り」や「ほうれん草パン作り」では「こういう理由でこういうやり方をします」という栄養士の説明をしっかり聞いてから、みんなでわいわい盛り上がり作業し、思い思いの形に作ったおにぎりやパンをおいしく食べました。これらの経験が子どもたちの中で思い出として残り、大人になった後も「自分が食べるもの」と「調理すること」に興味関心を持ち続けてくれたら幸いと願っています。



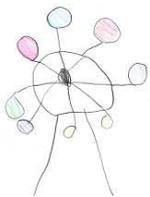
わくわくまつり取り組みの様子 ～ 5歳児クラス ～



「みんなが楽しく遊べる場所にしたい」

こどもあそびば

こどもあそびばチームでは、休みの日に室内の子どもの遊び場があって色々なコーナーで自由に遊べて楽しかったという経験からその遊び場をみんなで作ることにになりました。どんなことをしたらみんなで楽しめるのかをリーダーを中心に話し合い「ボールプールがしたい」「紙芝居を作って読んであげたい」「お絵描きや塗り絵が出来る所がほしい」等様々な意見が出ました。初日は、自分たちが当日着る衣装作りからスタートしました。みんなで虹色の衣装を作ることにになり、色や形等、自分の好きなように作っていました。ボールプールではレンガの仕切りを作るために、みんなで協力をしながら画用紙を貼ったり、白い線を入れてレンガに見えるように工夫して作っています。少しずつ色々なものが形になり出来上がっていくことを喜んでいきます。当日まで子どもたちと楽しみながら進めていきたいと思えます。



「みんなでたのしみながら」

ゆうえんちランド

ゆうえんちランドでは、滑り台ジェットコースター、観覧車、迷路、太鼓のゲーム、動物触れ合い広場など、みんなが体を使って楽しめることを制作しています。遊び場が完成するごとに自分たちも遊んで楽しみ「これは楽しいね」と、実感しています。観覧車や滑り台には、巧技台に色画用紙を貼って色付けをしました。初めは一人ひとりが自分の分担場所を決めて取り組んでいましたが、自分の場所が終わると友達の進み具合を見て「ガムテープ切ろうか」と手伝おうとする姿や、手の届かない部分を2人で協力して貼ろうとする姿などが出てきました。また、動物触れ合い広場の動物作りでは、大きくなったね会で作った衣装の作り方を思い出しながら手際よく作業していく子どもたちです。午前中に終わらなかった作業は「午後もやろう」と、声を掛け合いみんながやる気に溢れ、一人ひとりがリーダーとしての力も発揮しようと頑張っています。これまでに培ってきた制作力や友達との連携力を活かし、遊びに来てくれるお客さんの気持ちを考えながら日々わくわくして活動を楽しんでいます。



「こんなのどうかな」

おんせんわくわくホテル

自分たちがお休みの日に経験したことのある“温泉”や“ビュッフェ”、“テント泊”等を盛り込んだ、わくわくするホテルを計画しています。「おみやげは、こんなポシェットを売ったらどうかな」と、活動以外の時間にも作り物を考えてみんなに提案してくれる子がいました。「すごいね。じゃあ私はケーキを考える」と周りの意欲が高まり、それぞれが考えてきた試作をもとに、どうやって作るかを教え合って作っている子どもたちです。「チョコレートケーキにしてもいいかな」「いいねいいね」と友達の提案も認めながらすすめています。

“足湯”を作った時には「足湯はグレーに塗ろうか」「石の足湯だもんね」「グレーで塗ったら、その上から黒で石の模様を描けばいいんじゃない」「いいね」「決まった」というやりとりがありました。活動を重ねるなかで話し合いもスムーズになり、力を合わせて作ろうとする頼もしい姿です。

